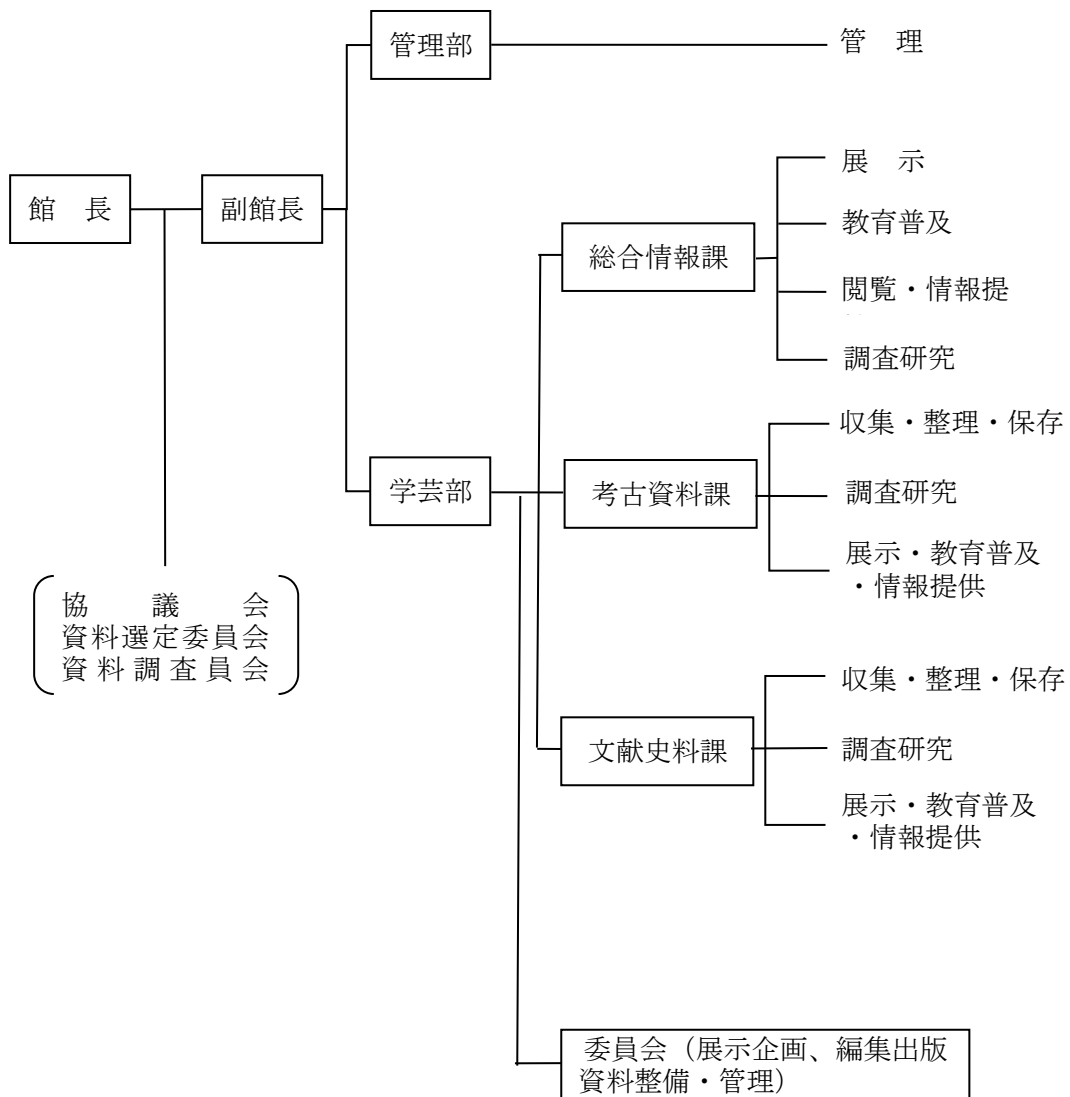


5 県立歴史館

(1) 歴史館の概要

県立歴史館は、歴史博物館的機能をもつ総合情報部門、発掘調査により出土した遺物や、記録・写真・図面などを収集整理・調査研究・保管し、閲覧に供する考古資料部門、公文書・古文書などの歴史資料を収集整理・調査研究・保管し、閲覧に供する文献史料部門の三つの機能を合わせ持った複合施設である。

(2) 組織と機能



職員配置：館長 1、副館長 1、管理部 3、学芸部 17(学芸部長 1、総合情報課 9、考古資料課 4、文献史料課 3)、行託 5、非常勤 4

(3) 県立歴史館協議会

委員の構成

(平成30年3月31日現在)

氏名	現職
久留島 浩	国立歴史民俗博物館長
小林 正春	長野県考古学会長
小松 芳郎	信濃史学会長
下村 征子	東御市教育長職務代理者
高澤 政江	公募
中條 智子	(一社)長野県連合婦人会長
中村 孝子	更級小学校教諭
早見 千津子	(公財)八十二文化財団職員
山口 敏男	千曲市森将軍塚古墳館長
山崎 まゆみ	公募

(任期 平成29年2月7日から平成31年2月6日まで)

(4) 常設展 ※小テーマ替えは随時行っている。

- ア 原始 最古の狩人 ほか
- イ 古代・中世 信濃から都へ ほか
- ウ 近世 一揆と世直し ほか
- エ 近現代 世界につながる蚕糸業 ほか

(5) 企画展等

- ア 長野県埋蔵文化財センター巡回展「長野県の遺跡発掘2017」
 - 県立歴史館：3月18日(土)～6月25日(日)
 - 伊那会場：7月29日(土)～8月20日(日)
 - 安曇野会場：8月26日(土)～9月24日(日)
 - 佐久会場：9月30日(土)～11月26日(日)
- イ 夏季企画展：7月8日(土)～8月28日(月)
「長野県誕生！一公文書・古文書から読みとく一」
 - 講演会：7月15日(土)「地方制度にみる明治維新」
 - 講師：慶應義塾大学 経済学部 准教授 松沢 裕作 氏
- ウ 秋季企画展：9月16日(土)～11月26日(日)
「進化する縄文土器～流れるもようと区画もよう～」
 - 講演会：10月28日(土)「パプア・ニューギニアの土器作りと縄文土器」
 - 講師：早稲田大学 教授 高橋 龍三郎 氏

エ 冬季展：12月16日(土)～2月25日(日)

「田中芳男―「虫捕御用」の明治維新」

講演会①：12月16日(土)「田中芳男をめぐって―伊那谷の人のつながり―」

講師：長野県立歴史館館長 笹本 正治

講演会②：1月20日(土)「近代日本の礎を築いた田中芳男」

講師：飯田市美術博物館 学芸係長 櫻井 弘人 氏

(6) 講座

ア 歴史館ふるさと講座

テーマ：『自然と向かい合い、暮らしを築く』

6月3日(土)	「土石流災害と伝説」
6月10日(土)	「長野県をおそった近代の災害 ―地震、地すべり、土石流、なだれ、大火―」
6月17日(土)	「浅間山、天仁元年(1108)の大噴火」
6月24日(土)	「1847年善光寺地震を再考する―歴史学の立場から―」
7月1日(土)	「ここまでわかった「戌の満水」(寛保2年千曲川大洪水)」

イ やさしい信濃の歴史講座

テーマ：『川と信州のあゆみ』

12月9日(土)	「御牧ヶ原と塩田のため池―本州―の少雨地に田をつくる―」 「水を得る戦い―用水堰の開鑿―」
12月23日(土)	「日本人の心に生きる「河童」」 「信州の川と利水・治水・親水」
1月6日(土)	「変わりゆく人里の植物たち～安曇野の水辺から～」
1月13日(土)	「天竜川流域の信仰とその造形―諏訪大社神宮寺と知久氏を中心に―」
2月3日(土)	「川のある風景―広重《洗馬》をめぐって」 「器械製糸黎明期の歴史―水車の動力利用にかかわって―」
2月17日(土)	「「屋代ムラ」その日その時、そして復旧・復興への道のり ―発掘調査からみた888年の大洪水とその後―」 「旧石器時代のムラ―川辺のムラ、湿地を囲むムラ―」
3月10日(土)	「果てなく黄色い花咲く丘で―長野県民の満州体験―」

ウ 考古学講座『ヒトの交流・モノの流通』

5月20日(土)・9月30日(土)・10月14日(土)・10月21日(土)・11月18日(土)

合計参加者 387 人

エ 古文書講座(通年予約制)

初級A：年間5回（6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月8日）

初級B：年間5回（6月15日、7月20日、8月17日、9月14日、10月19日）

中級A：年間5回（6月4日、7月2日、8月5日、9月2日、10月7日）

中級B：年間5回（6月16日、7月20日、8月17日、9月14日、10月19日）

上級：年間5回（5月27日、6月24日、7月29日、8月26日、9月30日）

ティーンズ：年間4回（8月8日、8月9日、8月10日、8月11日）

(7) お出かけ歴史館

社会見学等で訪れる機会がない中南信地域の子どもたちに、歴史の魅力を伝える出前講座
実施学校数6校、学級数19学級、実施人数494人

(8) 講習会(関係者)

「考古資料保存処理講習会」11月21日(火)

「文献史料保存活用講習会」6月23日(木)、11月11日(金)、2月27・28日(火・水)

(9) イベント

ア 「歴史館でこどもの日」、「歴史館で夏休み」の開催

歴史館でこどもの日 5月5日(金) 参加者336人

歴史館で夏休み 8月5日(土) 参加者192人

イ 春休み親子映画会(「まんが日本昔ばなし」「子ども人形劇場」)の開催

3月20日(火)・21日(水・祝)・23日(金)・24日(土)

合計参加者659人

(10) 他機関等との連携事業

ア 「歴史館パートナーの日」の実施

協賛企業(パートナー)との連携による特別企画

12月16日(土) 「県立歴史館・KOAの日」 参加者数649人

イ 信濃毎日新聞コラム「しなの歴史再見」の執筆

執筆数34回

ウ 「過去の災害に学ぶページ」の開設(平成30年2月)

県建設部砂防課と連携し、歴史館所蔵の「長野県明治初期の村絵図」を活用した土砂災害を避けるための情報を掲載

(11) 利用者数の推移

区分 年度	常設 展示室	企画 展示室	講演 講座等	閲覧室	合計	対前年度 割合	対7年度 割合
6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890	11月3日開館	
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921	—	—
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232	78.5	同左
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753	80.2	62.9
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207	113.2	71.2
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284	98.0	69.8
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280	89.6	62.6
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574	107.3	67.1
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943	100.4	67.4
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235	104.6	70.5
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402	98.1	69.2
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935	103.7	71.7
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230	113.4	81.4
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236	104.5	85.0
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010	83.6	71.1
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372	100.3	71.3
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899	94.4	67.4
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234	101.4	68.3
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982	105.0	71.8
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222	93.2	66.9
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370	113.8	74.9
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994	101.6	76.1
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390	107.0	81.5
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052	91.7	74.7
合計	1,172,052	755,330	283,633	200,632	2,411,647	—	—

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

(12) 資料の収集・整理・保存

ア 展示資料

「山ノ内町立北小学校資料」「足踏みミシン」など7点の寄贈があったほか、「田中平八資料雛道具」1件を修復した。

イ 考古資料

収蔵庫内の資料の点検、修理が必要な遺物の整理を行うとともに、長野県埋蔵文化財センターから移管された遺物、写真、調査資料等の整理を実施した。

また、木器や金属器など館蔵脆弱資料のうち、劣化状況が深刻な資料について、保存処理を継続して実施（完了：木器 620 点、金属器 249 点）したほか、歴史館の設備を用いて、当県の歴史研究のために必要とされる科学分析を実施（84 点）した。

ウ 文献史料

（ア）古文書

「きそのぐはんしょ（木曾願書）」「武田晴信朱印状（晴信角印）」など 11 点を購入したほか、「埴科郡森村中澤家文書」「水内郡古山村名主戸谷家文書」など 10 点の寄贈、「上條信彦氏収集資料」「善光寺地震被害状況一覧」の寄託があった。

また、「筑摩郡犬飼家文書」「佐久郡上平尾村森泉家文書」などの整理を進めた。

（イ）行政文書

平成 27 年度不用決定された本庁及び現地機関の文書 1,157 件のうち、166 件、また、平成 28 年度不用決定された本庁及び現地機関の文書 6,936 件のうち、113 件について、歴史的価値を有する文書として収集した。